

目次

- 「防災こそ生涯学習である」……………1
- 令和6年度ファミリー・カレッジ
in 本多の森……………1
- いしかわの魅力を再発見しよう！
「ふるさとモット学び塾」……………2
- 「能登校講座」の今……………2
- 「あいあいネット」のご案内……………3
- まなびすとルームからのご案内……………3
- “出会い”(41)……………4
- お知らせ……………4
- Topics……………4

生涯学習センター だより



No.289
2024

ISHIKAWA LIFELONG LEARNING CENTER INFORMATION

令和6年11月21日発行／石川県立生涯学習センター 〒920-0935 金沢市石引4-17-1 石川県本多の森庁舎 TEL. 076-223-9571
生涯学習センター ホームページ <https://www.pref.ishikawa.lg.jp/shakyo-c/>

防災こそ生涯学習である

石川県立大学 環境科学科 里山里海創生系 准教授 (博士・農学)
山下良平



本稿の執筆を依頼された段階では、このようなタイトルの文章を書く予定ではなかったが、2024年9月21日以降に状況は一変した。元旦の地震に加えた秋の豪雨に対して「神も仏もないものか」というフレーズを異口同音に何度聞いたことか。今年は本来ならば多様な研究を展開するはずであった私自身も、災害復興以外の用務はほぼ何も手につかないほど、頭の中の大半は能登半島地震で占められている。これでもかと備えに備えても、その上をいく自然の脅威の前に、幾度となく心が折れそうになった。しかし、報道やSNSを通じてたくましく復興に向かう被災者の姿を拝見するにつけ、幸いにも少ない被害で済んだ自分が弱音を吐いてどうするかと自己を奮い立たせてきた。そして、これまで東日本大震災、熊本地震の被災地で復興の過程を見聞きしてきた経験をもとに、少しでも能登半島地震からの復興に貢献せねばと考えて日々を過ごしている。

さて、人間の脳は辛いことや心地よくない記憶を積極的に消去する機能があると知られている。石川県以外でも、ここ5年ほどでみても毎年のように激甚災害指定となる自然災害が起り、甚大な被害が発生してきたことを正確に覚えている人は少ないのではないだろうか。「明日は我が身」「転ばぬ先の杖」として常にリスクを意識して対策を学び続けることは容易ではない。しかし、天災は忘れた頃にやってくるもので、まさに防災は生涯学習のこのうえない対象であろう。

令和6年度「ファミリー・カレッジ in 本多の森」

「ファミリー・カレッジ in 本多の森」は、子どもを含む若年層の方々に生涯学習への興味をもっていただき、全ての世代を通じた生涯学習の推進を図るための講座です。今年度で10年目となります。

第1回は、6月30日(日)に池津勝教氏(気象予報士)を招き、「どうなるの？石川県の環境と気候～災害から命を守るポイント～」と題した講演会を行い、石川県で想定される災害とその対策について考えました。「今まで分からなかったことが分かりました」「まだ知らなかった気象や災害を知ることができて良かったです」「地球温暖化、災害等タイムリーなテーマで子どももよく聞いていました」などの感想が寄せられました。

第2回は、7月13日(土)に青木賢人氏(金沢大学准教授)、瀧山英真氏(石川県立伝統産業工芸館副館長)、岩田裕斗氏(加能地域史研究会会員)を招き、夏休み自由研究の題材を身近な地域の自然災害、伝統工芸、歴史の3つのテーマで考える講義とワークショップを実施しました。「能登半島地震があったので良い機会となりました」「石川県の伝統工芸に

ついて、広く知識を深める良い機会になりました」「徳川家康に関係する城と前田家との繋がりも調べたい」などの感想が寄せられました。

第3回は、10月26日(土)に中井精也氏(鉄道写真家)を招き、「鉄道写真家中井精也が見つけた石川県と日本全国の鉄道の魅力」と題した講演会を行いました。「お話がお上手で、写真からもその時のステキな出会いや、お気持ちが伝わり、とっても楽しかったです」「話もおもしろく、写真の撮り方も勉強になり、とても良かったです」「写真を続けていくために必要なノウハウを頂きました」などの感想が寄せられました。

この後、11月30日(土)に森本雄太氏(RAISE/DIG UP!!)を招いて「親子で楽しくダンス教室」と題したワークショップを行います。



第3回ファミリー・カレッジ in 本多の森の様子

いしかわの魅力を再発見しよう！

「ふるさとモット学び塾」

「ふるさとモット学び塾」は、各界の第一人者を講師に迎え、講演や現地探訪などを通じて様々な角度から「ふるさと石川」の魅力を紹介する講座です。

■ふるさとふれあい講座(金沢・能登・加賀会場)

専門家による石川の文化・歴史・自然・産業をテーマにした講演会です。

(一部講演は「あいあいネット」で配信しています。)

○「能登の揚浜式製塩法」(6/8 金沢会場第1回)

現在、能登にだけ残る伝統技法としての「揚浜式製塩」の歴史や製造工程、新商品開発や将来に向けた取組について伺いました。

感想

- ・伝統の塩造りがいくつかの工程を経て出来る大変なものであることが理解出来た。
- ・塩田が能登にしかないことを知った。

○「妙成寺の歴史と文化財」(6/29 能登会場)

国宝指定を目指している「妙成寺」について、お寺の歴史とその文化財的価値について伺いました。

感想

- ・妙成寺の歴史と文化財の価値について詳しく説明して頂き大変勉強になりました。
- ・妙成寺のすばらしさを知ることが出来ました。

○「全国に広がる白山信仰」(6/15 加賀会場)

白山信仰と全国各地にある白山神社との関わりについて伺いました。

感想

- ・全国の白山神社の事がよく理解できた。行ってみたい場所がまだまだ沢山あります。
- ・白山信仰が全国に広がっているすごさを知った。

■ふるさとふれあい現地講座

史跡や偉人ゆかりの地などを専門家と一緒に巡る講座です。

第1回「醤油の里『大野』を訪ねる」(5/30)

感想

- ・北前船で栄えていた町の様子がよく分かりました。
- ・日々使っている大野醤油は大変興味深く楽しかったです。



第3回「高岡開祖・前田利長ゆかりの地を訪ねる」(9/13)

感想

- ・利長公墓所を見学出来て大変良かった。
- ・利長、利常の関係性や、高岡の鋳物産業など経済発展の歴史について知ることができた。



■子どもふるさと博士講座

「金沢城博士になろう！」のテーマで、金沢城公園・兼六園を講師の方とともにたくさん歩き、学びました。

第1回「金沢城ってどんなお城？」(10/5)

感想

- ・初めて五十間長屋に入れてよかったです。三御門巡りは本当に楽しかったです。
- ・橋爪門は格式の高い門だと分かり、金沢城はくぎなどを使わず建てていてすごいと思った。



生涯学習センター能登分室

「能登校講座」の今

石川県民大学校能登校は、能登空港の開港に伴い、ターミナルビルの4階に開校しました。今年で21年目となります。例年たくさんの方の講座を開講しているのですが、元日の能登半島地震の影響で臨時休館を余儀なくされています。しかし、生涯学習の機会確保を目指して思案を重ね、下の2講座を開催することができました。

■能登文化講座

ターミナルビルが災害対応の中核を担い、会場を用意できなかったため、7月6日、金沢の本校で開催しました。講師の高木和子先生(東京大学大学院教授)は、平安文学、特に源氏物語が専門です。演題は「紫式部と源氏物語、その魅力」。折しも大河ドラマ「光る君へ」が放送中で、幅広い年齢層の大勢の方が受講されました。講演の前半はほとんど分かっていない紫式部の生涯について。後半は源氏物語の読み方について。先生の楽しい語り口に魅せられて、平安の雅に触れるひとときとなりました。

感想

「エネルギーあふれる講演」「話がスピーディーで、ぱったり切り捨てる部分もあり面白かった」「大河ドラマとの違いがよくわかった」「レベルが高い」

■能登の歴史探訪講座

能登の歴史、史跡、文化財などを深く知るための講座。演題は「能登半島地震と被災した文化財」です。10月9日、ターミナルビルの会議室を借りて開催しました。奥能登は、地震と水害で二重に被災し、生活とインフラの復旧復興が急務ですが、歴史を語る文化財を放ってはおけません。講師の東四柳史明先生(金沢学院大学名誉教授)は、能登文化財保護連絡協議会の会長としても、被災した文化財を救うために尽力しておられます。受講者の多くは奥能登にお住まいで、興味はひとしおの様子でした。

感想

「被災者でもある先生の本音が聴けた」「強い熱意を感じ、文化財を守る意義を再確認した」「文化財行政の裏話が面白かった」「先生の話はいつも楽しい」



「あいあいネット」では、県民の皆様にも県や市町等の生涯学習情報をインターネットで提供しています。講演会やセミナー・教室の講師をお探しの方は「講師案内」から、当センター視聴覚ライブラリー所蔵の教材については「視聴覚教材情報」から、カテゴリーやキーワードでお探しいただけます。このほか「講座案内」の検索や「講座ビデオ」の視聴なども可能です。ぜひ、ご活用ください。



● 「あいあいネット」へのアクセスは…

URL <https://inet.pref.ishikawa.jp/> もしくは で

まなびすとルーム からのご案内

● 視聴覚ライブラリーより、新着映像教材のご案内

生涯学習センター視聴覚ライブラリーでは、生涯学習やお子様の情操教育に役立つ映像教材を順次整備し、県民の皆様にも**無料**で貸し出しています。

最近配架となりました教材の一部を紹介します。

- ・「梅切らぬバカ」…高齢の母親と自閉症を抱える息子が地域コミュニティとの問題を通して自立の道を模索する姿を描く。息子・忠男と二人暮らしの山田珠子は悩んだ末、忠男のグループホームの入居を決める。しかし、初めて離れて暮らすことになり…。出演：加賀まりこ、塚地武雅、他。
- ・「映画 すみっこぐらし とびだす絵本とひみつのコ」…ある日、すみっこたちは、お気に入りのおみせ「喫茶すみっこ」の地下室で、古くなった一冊のとびだす絵本を見つける。絵本を眺めていると、突然しかけが動き出し、すみっこたちは吸い込まれてしまう。

「映画 すみっこぐらし 青い月夜のまほうのコ」も配架中。

このほかにも「いしかわ大百科」などの県制作番組が配架となっております。ぜひ、当センターホームページもしくは「あいあいネット」でご確認ください。

● いしかわマナビイメーるのご案内

石川県立生涯学習センターでは、パソコンや携帯電話、スマホ(送信元のアドレス)に直接、講座情報などを電子メールでお送りするサービスを実施しています。お申込み方法は、皆様のパソコンや携帯電話、スマホなどから電子メールの件名を「メール申込み」とし、kendai@pref.ishikawa.lg.jpにお名前を送信してください。



● 県民企画展示(マナビィコーナー)について

まなびすとルーム内「マナビィコーナー」では、生涯学習の成果の発表や交流の場として、県民の皆様のご作品を展示しています。なお、出展・入場は**無料**です。(出展の希望、展示の予定については、電話でお問い合わせいただくか、当センターのホームページでご確認ください。)

石川県立生涯学習センター **まなびすとルーム**

TEL 076-223-9574 FAX 076-223-9004



生涯学習との出会い

あすなろ悠々塾講師 三隅 美和子

熊本で37年住み、雲仙岳を眺め、有明海の干満の差を見て驚き、点訳12年・朗読19年ボランティアをしていました。輪島に帰って来るとき「出会い」を楽しみにしてきました。

小さい時から本と花が好きで、花や野菜の種を蒔き、芽が出て、花が咲き、実る、そんな生活をしているとき、生涯学習の話聞き、何をするとおとところかと本多の森庁舎に行き、訳が分からずに講師養成講座を受け、「点字と朗読ボランティアから学んだこと」で講座を持たせてもらいました。それから5年、生涯学習の文学の講座を受けています。やっと生涯学習を理解できました。楽しみながら生涯続けること！

毎日、水平線に浮かぶ七ツ島を眺め、太陽が真っ赤になって海に沈む光景を見ている。ある日、七ツ島が高く見える気がした。それは蜃気楼でした。

震度7の大地震・一日の雨量500ミリでした。停電・水道水が来ない、携帯が繋がらない、山も道路もいたるところで亀裂・崩れ。海岸線が隆起したのでそこに道路ができ、やっと買い物に行ける。大雨のあと家・橋が流され、お米は田んぼで埋まっている。水道・電気・道路・家みんな仮です。日本中から手伝いに来てくれています。ここに書いたこと全部が出会いです。「おかげさまで」くらしていけます。

お知らせ

令和6年度石川県民大学校大学院 「石川の博士」養成講座 論文発表会・記念講演

◇日時／令和7年1月25日(土) 13:30~15:50

◇会場／石川県立生涯学習センター

◇日程／13:30~14:40 論文発表会
令和6年度石川県民大学校大学院
受講生の代表者による論文・講座
企画書の発表

14:50~15:50 記念講演

演題 「古墳時代ヤマト王権と加賀・能登」
講師 公益財団法人石川県埋蔵文化財センター
参事 伊藤 雅文 氏

◇受講無料

◇申込み要 電子申請(先着60名)

◇受付期間 12月16日(月)~
令和7年1月20日(月)

◆お問い合わせ 社会教育グループ TEL 076-223-9572



令和6年度(第55回) いしかわ映像作品コンテスト

作品募集

題材は自由!日々の活動やふるさと等をテーマに、あなたの想いを「実際に役立つ視聴覚教材」として、映像で表現してみませんか。

◇応募資格

県内に在住もしくは勤務する個人またはグループ

◇応募規定

①実写の動画を主体とする10分以内の作品

②他の映像作品コンクール等に応募または受賞した作品も応募可。

・詳しくは石川県視聴覚教育協議会ホームページをご覧ください。センターホームページのトップに関連リンクがあります。

◇応募締切／令和7年1月23日(木)(当日消印有効)

◆お問い合わせ(応募先)

石川県視聴覚教育協議会事務局
(学習情報グループ内)

TEL 076-223-9573 FAX 076-223-9585



~Topics~

10月26日(土)から11月8日(金)にかけて、「マナビフェア in 本多の森 2024」を開催しました。26日のオープニングセレモニーでは、翠星高校の「出張ピュアマート」による出張販売のほか、北陸学院中学校ハンドベルクラブによるハンドベル演奏が催され、能登半島地震被害復興への思いを込め、ハンドベルに合わせてみんなで「ふるさと」を合唱しました。展示部門でも、復興応援企画として、珠洲市正院公民館の能登半島地震発生当初の避難所運営、金沢市菊川町公民館の「防災すごろく」、現在休講を余儀なくされている県民大学校能登校の以前の講座風景や、8月に能登少年自然の家で実施された奥能登の子どもたちに学習・体験の機会を提供する「がんばろう 能登っ子!自然学校」の様子を写真で紹介しました。

石川県立生涯学習センター

〒920-0935 金沢市石引4丁目17-1
石川県本多の森庁舎2階

- ・総務グループ 076-223-9571
- ・社会教育グループ 076-223-9572
- ・学習情報グループ 076-223-9573
- ・FAX 076-223-9585
- ・まなびすとルーム TEL 076-223-9574
- FAX 076-223-9004

石川県立生涯学習センター 能登分室

〒929-2392 輪島市三井町洲衛10部11番1
のと里山空港ターミナルビル4階
TEL 0768-26-2360 FAX 0768-26-2361



能登半島地震による被害等のため、能登分室は、現在休館しております。

ホームページ URL … <https://www.pref.ishikawa.lg.jp/shakyo-c/> (もしくは で)